

芸人時代の同期の五十嵐サキさんが吉本新喜劇入団30周年記念イベントを開催します。
会場はお笑いの聖地「なんばグランド花月」。同期がその舞台でメインを張ると聞き、胸がいっぱいになりました。あの舞台に立ち続けることが、とれほど大変で誇らしいことかを、私は知っています。
⑧ 同期の大舞台



大阪成蹊大准教授 福岡亮治

五十嵐さんの記念イベントを告知するポスター



せ、お前」という毒舌キャラの秋田久美子さん、そして、昨年4月に天国へと旅立った「許してやったらどうや」の広島弁なまりが

忘れられない山田亮さん。ライブでありながら一度もけんかをすることなく、成功も失敗も分かち合ってきたすてきな仲間。30年間もなんばグランド花月に立ち続けてきた同期は私の自慢です。



一方で私は、吉本新喜劇を3年で引退しました。ありがたいこと

に当時はレギュラー番組にも恵まれ、全国ツアーにも参加させていたでいていました。アルバイト収入と合わせると、私が教員としていただいた初任給より多く給料をもらっていた月もありましたが、吉本の世界は完全歩合制で仕事があれば収入はゼロ。その不安定さに打ち勝つだけの覚悟を持ち続けることができず、夢半ばでその世界を離れました。
しかし、憧れの芸人を辞めてか

舞台上で頑張り続ける姿、励みに

らのやり直しの人生も決して順風満帆ではありませんでした。特に家庭を持ってから大学の先生を目指し、小学校教員として働きながら夜間の大学院に通う日々は、時間的にも精神的にも経済的にも厳しく、それなりの苦勞もありました。
それでも踏ん張ったのは、「芸人時代のプレッシャーに比べたら」「夢を託した同期の仲間たちも頑張っている」と思えたからです。今も舞台上に立ち続ける同期芸人たちは、人生の励みです。30年もの間、不安と期待のプレッシャーと闘いながら結果を出し続け、多くのお客さんに笑いと幸せを届

けるその姿には、尊敬しかありません。



五十嵐サキさんの30周年記念公演は4月3日午後7時30分開演、会場はなんばグランド花月です。多くの方に足を運んでいただけたらうれしいです。満席の客席に包まれて、同期が気持ちよく舞台上に立てたらどんなにすてきだろう、と想像しています。節目となる舞台が、あなたたく晴れやかな時間になりますように。心からそう願っています。